

「地域医薬品提供体制構築推進事業」の概要

～多職種連携による在宅患者への医薬品提供体制及び服薬管理体制の強化に向けて～

(公益社団法人 高知県薬剤師会) 様式2 事業実施計画書 2-1実施内容の概要版

【本県の現状】

- ・高齢化が10年先行しており、高まる在宅ニーズに対応するための体制整備が急務
- ・医療リソースが高知市に集中する中で、特に、都市部のみならず郡部でも多職種連携による効率的な医薬品提供体制等が求められている

【本会の対応】

- ・県が策定した「日本一の健康長寿県構想」や「患者のための薬局ビジョン」に基づき、県の委託を受け「在宅訪問薬剤師」の育成等を行ってきたところ ➡ 在宅訪問実施薬局数が倍増 (H28→R5)

【本事業での目的】

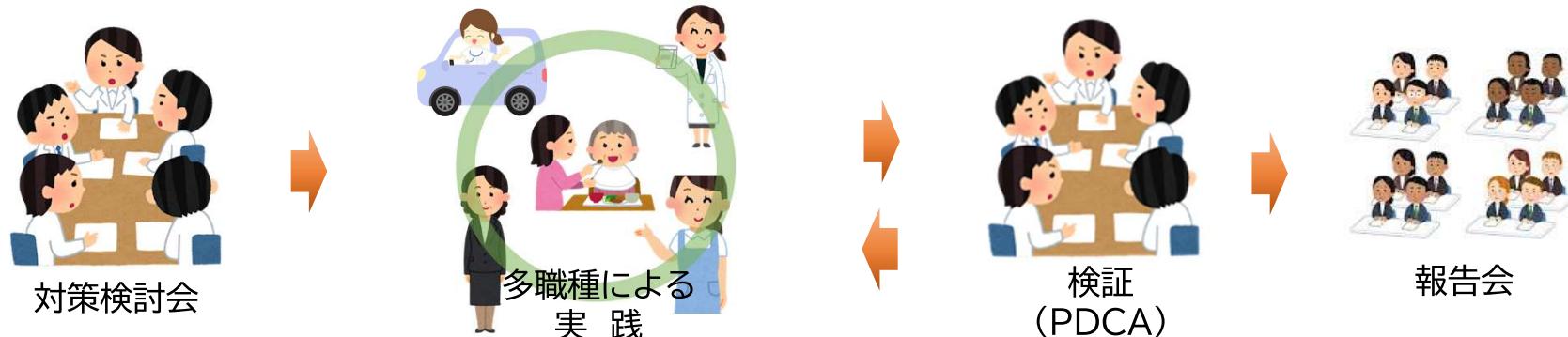
- ①多職種連携による在宅患者への医薬品提供体制及び服薬管理体制のさらなる強化 (都市部Ver、中山間Ver)
- ②当会の在宅連携室の機能の見える化による強化

【具体的な取組】

- ①多職種連携による在宅患者への医薬品提供体制及び服薬管理体制のさらなる強化
 - ・県レベル及びモデル支部 (高知市部の一部地域と中山間地域を抱える2支部) での検討会による課題の整理と対策の検討、実践 (県薬務衛生課、高知県訪問看護ST連絡協、高知県介護支援専門員連絡協、高知県ホームヘルパー連絡協、市町村地域包括支援センターなど)
- ②当会のホームページに在宅訪問薬剤師・薬局に係るプラットフォームを作成し、当会の在宅連携室の機能の見える化を図る
 - ・他職種向けの困りごと相談窓口の一本化 (在宅患者への医薬品提供や残薬、服薬等の困りごと相談ツールの紹介)
 - ・在宅訪問薬局の紹介、マッチング
 - ・ホームページの周知用パンフを作成、配布

【事業評価】

- ・検討内容や実践事例に関する報告会を開催するとともに、県、支部単位でPDCAサイクルを回しながら事業継続
- ・事業終了後に、事業に参加した薬剤師、多職種にアンケート調査を実施



地域医薬品提供体制構築推進事業(高知県薬剤師会)

(様式2 事業実施計画書 2-2実施計画 ②実施体制図及び役割分担)

県レベルの検討会

